

新着案内

NO. 2
2022年7月
伊丹西高校図書館



『夜行堂奇譚』(嗣人)

隻腕の見鬼(けんぎ)・千早と、オカルト嫌いな県庁生安課・大野木は、骨董屋「夜行堂」店主によって引き合わされ、多発する怪異の解決に挑む。人の情念や想いが、人ならざるものとなり引き起こす、数々の呪いと悲劇。その様を静かに眺める、夜行堂店主の真の目的とはいかに。SNSで話題の怪異譚、待望の書籍化。

『ポイズンドーター・ホーリーマザー』(湊かなえ)

女優の弓香のもとに故郷での同窓会の誘いが届く。欠席を表明したのは抑圧的な母親に会いたくなかったから。だが、思いがけぬ訃報を聞く。善意と正しさの掛け違いが、眼前の光景を鮮やかに反転させる短編集。



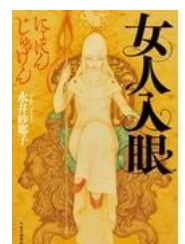
『俺たちは神じゃない 麻布中央病院外科』(中山 祐次郎)

国会議員の癌切除を依頼された生真面目な外科医、剣崎は、陽気な関西人、松島を助手に得意なロボット手術を進めるが、ある危機が。現役外科医が総合病院で日夜起こるドラマをリアルに描く、医学エンターテインメント。



『絞め殺しの樹』(河崎 秋子)

北海道根室で生まれたミサエ。数々の苦難に遭いながら、ひっそりと生を全うしたミサエは幸せだったのか。養子に出された息子の雄介は、ミサエの人生の道のりを辿ろうとする。第167回直木賞候補作。



『女人入眼』(永井 紗耶子)

京の六条殿に仕える女房・周子は、源頼朝と北条政子の娘・大姫を入内させるという命を受けて鎌倉へ。繊細な心を持つ大姫と、目的のためには手段を選ばない政子。周子が辿り着いた、母子の間に横たわる悲しき過去とは。第167回直木賞候補作。

『N/A』(年森 瑛)

【第127回文学界新人賞受賞作品】
松井まどか、高校2年生。うみちゃんと付き合い合せて3か月。体重計の目盛りはしばらく、40を超えていない。優しさと気遣いの定型句に苛立ち、肉体から言葉を絞り出そうともがく魂を描く。



『時限病棟』(知念 実希人)

目覚めると、彼女は病院のベッドで点滴を受けていた。なぜこんな場所にいるのか。監禁された男女5人が脱出を試みるが。ピエロからのミッション、ふたつの死の謎、事件に迫る刑事。タイムリミットは6時間。衝撃の結末とは？

『倒れるときは前のめり ふたたび』(有川 浩)

ペンネーム変更にもつながった日々への出会いへの感謝、「コロボックル」ほか愛する本たちへの想い、ネット時代の言葉について綴った作家・有川ひろ(有川浩)のエッセイ集第2弾。



『ただいま神様当番』(青山 美智子)

ある朝、目を覚ますと手首から腕にかけて「神様当番」と太くて大きな文字が書かれていた! 突如目の前に現れた「神様」を名乗るおじいさんの願いを叶えないと、その文字は消えないようで。

『チグリジアの雨』(小林 由香)

高校1年生の航基は東京の進学校に通っていたが、母の再婚を機にある田舎町に引っ越すことに。転入して間もない学校生活は順調に進んでいたが、突然いじめのターゲットになる。いじめ問題に一石を投じる青春ミステリ小説。



『夢をかなえるゾウ』

ガネーシャと夢を食べるバク(水野 敬也)
「夢」がないやて? ほな「夢の見つけ方」教えてるか? 主人公を「宇宙一の偉人に育てる」とガネーシャは宣言したが、そもそも彼にはかなえない夢がない。ガネーシャの生い立ちも明かされる、夢ゾウシリーズの原点。

『その扉をたたく音』(瀬尾 まいこ)

29歳、無職。夢はミュージシャン。人生に行き詰っていた青年と、老人ホームで出会った「神様」との奇跡の夏が始まる。第68回青少年読書感想文全国コンクール高等学校の部 課題図書



『家庭用安心坑夫』(小砂川 ちと)

日本橋三越の柱に、幼いころ実家に貼ったシールがあるのを見つけたところから物語は始まる。狂気と現実世界が互いに浸食し合い、新人らしからぬ圧倒的筆致とスピード感で我々を思わぬところへ運んでいく。第167回芥川賞候補作。

『爆弾』(呉 勝浩)

都民1400万人を人質にとる無差別爆破テロ。爆弾の在り処の手がかりは、容疑者と思しき中年男が出す“クイズ”のみ。狭小な取調室の中で、正体不明の容疑者と警察の戦いが始まる。第167回直木賞候補作。



『世界でいちばん弱い妖怪』(キム・ドンシク著/吉川 凧訳)

「ぼく、ほんとに弱い。殺したりしないでね」と命乞いする落ちこぼれ妖怪。人間と共存したいと言うが。表題作をはじめ、クスッと笑えて最後に沁みる、韓国発ショートショート全18編を収録。

『宇宙兄弟 41』(小山 宙哉)

『ミステリと言う勿れ 11』(田村 由美)

『Re:ゼロから始める異世界生活 30』(長月 達平)

※ 皆さんからのリクエストを受け付けています!

新着案内

NO. 2
2022年7月
伊丹西高校図書館

～社会科学～



『ポストコロナ期を生きるきみたちへ』
(内田 樹他)

コロナ・パンデミックによって世界は変わった。この「歴史的転換点」以後の世界を生きる中高生たちに向けて、5つの世代、20名の識者が「生き延びるための知恵」の数々を伝える。

『バナナの魅力を100文字で伝えてください 誰でも身につく36の伝わる法則 地味だけど一生役立つ「伝わる技術」』

(柿内 尚文)

伝えたいことが相手に正確に伝わるための方法とは。ゴール設定や見える化といった「伝わる構造」と、比較・言い換えなどの「伝わる技術」を紹介する。



『イラストで学ぶジェンダーのはなし みんなと自分を理解するためのガイドブック』

(アイリス・ゴットリーブ著/野中 モモ訳)

ジェンダーをめぐる歴史的な出来事、影響をもたらした人々の逸話、経験談。性別二元論に収まらない著者が、歴史、科学、社会学的な事象を通じつつ、ジェンダーに関するトピックを解説。

～その他～



『歴飯ヒストリア』(加来 耕三)

今でも食べられているかき氷は、清少納言の時代から愛されていた。家康の命を奪ったといわれる鯛の天ぷら、本当の死因は？など、知られざる歌人や武将たちの素顔が満載。それぞれが愛した食事のレシピページに歴史家・加来耕三のコラムページとボリュームたっぷりの1冊。

『一晩置いたカレーはなぜおいしいのか 食材と料理のサイエンス』(稲垣 栄洋)

一晩置いたカレーはなぜおいしい？ 子どもたちはどうしてピーマンが嫌いなのか？ ワサビがツーンとする理由は？ 味、食感、香り、栄養素など食材に関する謎を、食材が生きていたときの姿から解き明かす。調理の裏ワザも紹介。



～自然科学～

『もしも科学大全 ソクソクしてやみつきのなる！』(今泉 忠明)

木星に落ちるとどうなる？ おならで宇宙までぶっ飛んだら？ アナコンダを団子結びしたら？ 水に浸かり続けたら？ 誰もが一度は想像したことのある極限の世界を科学的に解説する。



『野菜と栄養素キャラクター図鑑 キライがスキに大へんしん！』(田中 明)

きほん栄養素をキャラクター化して紹介。それぞれの栄養素の役割、含まれる食べ物、適切なとり方などがわかる。女子栄養大学栄養クリニックとのコラボで誕生した、大人も子どもも楽しめる“オモシロ”図鑑。

『クジラの骨と僕らの未来』(中村 玄)

小さな頃から生き物が大好きで、様々な動物を飼っていた著者。中学2年生の時、骨格見本に興味を持ち、死んでしまったペットのハムスターの墓あばきを思いつく。骨からスタートしたクジラ博士の研究航海記。

第68回青少年読書感想文全国コンクール高等学校の部 課題図書



～キミも英語多読に挑戦しよう！～

★英語多読のススメ：やさしすぎるくらいの本から読み始めて、読む楽しさを味わいながら、とにかくたくさん本を読むことで、英文が読めるようになります。ゆっくりでもいいので、すこしずつ始めていきましょう。

『The Tale of Genji』
(Murasaki Shikibu/Royall Tyler 訳)

Written in the eleventh century, this exquisite portrait of courtly life in medieval Japan is widely celebrated as the world's first novel—and is certainly one of its finest. Genji, the Shining Prince, is the son of an emperor. He is a passionate character whose tempestuous nature, family circumstances, love affairs, alliances, and shifting political fortunes form the core of this magnificent epic.



『I Want to Eat Your Pancreas』
(Yoru Sumino)

A high school boy finds the diary of his classmate—only to discover that she's dying. Yamauchi Sakura has been silently suffering from a pancreatic disease, and now exactly one person outside her family knows. He swears to her that he won't tell anyone what he learned, and the shared secret brings them closer together in this deeply moving, first-person story that traces their developing relationship in Sakura's final months of life.



『推し活英語 世界が広がる』(劇団雌猫)
「推し」「沼」「尊い」などの推し活必修単語や、「待って無理しんどい」「考察がはかどる」といったフレーズなど、SNSやオタク同士の会話などでよく使われる英語表現を多数収録。音声ダウンロードできるQRコード付き。

『気持ちを表すことばの辞典』(飯間 浩明)
知っておくと役に立つ「感情のことば」「行動のことば」「体のことば」を整理・分類。見開き1ページで8～10語の「ことば」を、例文とともに紹介する。ことばの魅力や不思議を伝えるコラムも収録。



『20カ国語ペラペラ 私の外国語学習法』
(種田 輝豊)

終戦間もない北海道網走での少年時代。ラジオの異国の言葉に胸をときめかせ、独学で英語を磨き、日米交換留学生に。あらゆる方法を駆使し、30歳で20カ国語をマスターした著者が、語学上達のノウハウを惜しみなく伝える。